



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 総合警備保障株式会社
 コード番号 2331 URL <http://www.alsok.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 幸恭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 大谷 啓
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3470-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	75,971	5.2	3,352	14.4	3,606	4.1	1,944	27.8
24年3月期第1四半期	72,191	4.8	2,929	△9.6	3,464	△1.1	1,521	4.4

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 1,969百万円 (5.9%) 24年3月期第1四半期 1,859百万円 (70.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.34	—
24年3月期第1四半期	15.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	281,195	166,411	52.0	1,454.86
24年3月期	283,593	165,634	51.3	1,446.93

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 146,263百万円 24年3月期 145,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	155,600	5.4	6,400	1.0	7,400	2.7	3,800	31.5	37.80
通期	315,000	3.4	12,500	15.6	14,100	12.3	7,300	87.0	72.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	102,040,042 株	24年3月期	102,040,042 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,505,754 株	24年3月期	1,505,754 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	100,534,288 株	24年3月期1Q	100,534,437 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要が徐々に本格化しつつある一方で、欧州の政府債務危機を背景にした海外景気の低迷や円高の影響を受け、引き続き不安定な状況下にありました。その後も、欧州の政府債務危機が主要国にも広がりつつあることなどから世界景気に減速感が増しており、これを受けた我が国経済も予断を許さない状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループの当第1四半期連結累計期間は、売上高につきましては75,971百万円（前年同期比5.2%増）となりました。営業利益は、より一層のコスト削減に取り組んだことから3,352百万円（前年同期比14.4%増）となり、経常利益は3,606百万円（前年同期比4.1%増）となりました。四半期純利益は1,944百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

セグメント別にみますと、以下のとおりであります。

セキュリティ事業は、機械警備業務においては、前期から引き続きカメラシステムや大手ハウスメーカーとの提携によるホームセキュリティの機器売却収入が大幅に伸びており、常駐警備業務においては前期に業務を開始した東京スカイツリータウン®をはじめとする大口契約先からの契約収入が増加し、警備輸送業務においてはATM総合管理業務の収入増加に加え、入金機オンラインシステムの大口契約の受注により収入が増加しました。これらの結果、売上高は66,652百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は5,258百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

総合管理・防災事業は、大口契約の受注等が売上に貢献し、売上高は8,544百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は230百万円（前年同期比433.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前期末比で2,398百万円減少し、281,195百万円となりました。主な増加要因は、前払費用等のその他の流動資産4,807百万円の増加であります。これに対し主な減少要因は、現金及び預金2,752百万円の減少、受取手形及び売掛金2,437百万円の減少、有価証券2,060百万円の減少であります。

負債の部は、前期末比で3,175百万円減少し、114,783百万円となりました。主な増加要因は、一般預り金等のその他の流動負債3,068百万円の増加であります。これに対し主な減少要因は、支払手形及び買掛金3,074百万円の減少、短期借入金1,156百万円の減少、未払法人税等978百万円の減少であります。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動の結果減少した資金は2,317百万円（前年同期比14.8%減）であります。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益3,677百万円、減価償却費による資金の内部留保2,759百万円、売上債権の減少による資金の増加2,436百万円であります。これらに対し資金の主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少3,961百万円、警備輸送業務に係る資産・負債の増減額の減少3,623百万円、法人税等の支払額2,531百万円であります。

なお、警備輸送業務に係る資産・負債の増減額には、警備輸送業務用現金及び短期借入金のうち警備輸送業務用に調達した資金等の増減が含まれております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動の結果増加した資金は29百万円（前年同四半期は1,380百万円の減少）であります。資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入2,208百万円であります。これに対し資金の主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,945百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動の結果減少した資金は239百万円（前年同期比24.6%減）であります。資金の主な増加要因は、短期借入金の増加2,318百万円であります。これに対し資金の主な減少要因は、配当金の支払1,005百万円、長期借入金の返済による支出937百万円、リース債務の返済による支出773百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算することとしております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ32百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,553	45,801
警備輸送業務用現金	55,264	55,426
受取手形及び売掛金	30,749	28,311
有価証券	2,744	684
原材料及び貯蔵品	5,625	5,716
未成工事支出金	562	1,069
立替金	8,093	8,189
その他	8,646	13,453
貸倒引当金	△179	△241
流動資産合計	160,060	158,411
固定資産		
有形固定資産	59,147	58,975
無形固定資産		
のれん	1,470	1,378
その他	5,078	4,827
無形固定資産合計	6,548	6,206
投資その他の資産		
投資有価証券	23,825	23,439
その他	34,744	34,907
貸倒引当金	△731	△745
投資その他の資産合計	57,837	57,601
固定資産合計	123,533	122,783
資産合計	283,593	281,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,439	13,364
短期借入金	21,924	20,768
未払法人税等	1,929	951
引当金	1,220	576
その他	27,731	30,799
流動負債合計	69,245	66,460
固定負債		
社債	40	35
長期借入金	9,410	8,902
退職給付引当金	28,346	28,754
役員退職慰労引当金	1,699	1,546
資産除去債務	91	92
その他	9,125	8,991
固定負債合計	48,713	48,322
負債合計	117,958	114,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,675	18,675
資本剰余金	32,117	32,117
利益剰余金	100,267	101,206
自己株式	△1,974	△1,974
株主資本合計	149,085	150,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,738	1,587
土地再評価差額金	△5,343	△5,343
為替換算調整勘定	△14	△5
その他の包括利益累計額合計	△3,619	△3,761
少数株主持分	20,168	20,148
純資産合計	165,634	166,411
負債純資産合計	283,593	281,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	72,191	75,971
売上原価	54,039	57,332
売上総利益	18,152	18,639
販売費及び一般管理費	15,222	15,287
営業利益	2,929	3,352
営業外収益		
受取利息	63	45
受取配当金	161	150
持分法による投資利益	21	38
その他	592	358
営業外収益合計	839	593
営業外費用		
支払利息	123	126
投資有価証券売却損	—	27
その他	181	185
営業外費用合計	304	338
経常利益	3,464	3,606
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
受取補償金	—	287
特別利益合計	—	288
特別損失		
投資有価証券評価損	72	218
災害による損失	126	—
特別損失合計	198	218
税金等調整前四半期純利益	3,265	3,677
法人税等	1,538	1,548
少数株主損益調整前四半期純利益	1,726	2,129
少数株主利益	205	185
四半期純利益	1,521	1,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,726	2,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	△181
為替換算調整勘定	2	10
持分法適用会社に対する持分相当額	8	10
その他の包括利益合計	132	△160
四半期包括利益	1,859	1,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,657	1,802
少数株主に係る四半期包括利益	202	166

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,265	3,677
減価償却費	2,917	2,759
のれん償却額	85	91
負ののれん償却額	△20	△20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	75
退職給付引当金の増減額(△は減少)	292	403
賞与引当金の増減額(△は減少)	△422	△503
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△141	△139
受取利息及び受取配当金	△225	△195
支払利息	123	126
持分法による投資損益(△は益)	△21	△38
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	18	0
投資有価証券売却損益(△は益)	—	25
投資有価証券評価損益(△は益)	72	218
デリバティブ評価損益(△は益)	47	33
売上債権の増減額(△は増加)	3,582	2,436
たな卸資産の増減額(△は増加)	△582	△598
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,901	△3,961
前払年金費用の増減額(△は増加)	196	△21
警備輸送業務に係る資産・負債の増減額	△5,778	△3,623
その他	△623	△682
小計	△133	63
利息及び配当金の受取額	292	271
利息の支払額	△111	△124
法人税等の支払額	△2,768	△2,531
法人税等の還付額	—	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,720	△2,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	897	232
有形固定資産の取得による支出	△1,789	△1,945
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△658	△330
投資有価証券の売却による収入	108	2,208
短期貸付金の増減額(△は増加)	△5	△0
長期貸付けによる支出	△29	△13
長期貸付金の回収による収入	41	39
その他	55	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,380	29

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,075	2,318
長期借入れによる収入	350	400
長期借入金の返済による支出	△951	△937
社債の償還による支出	△50	△55
リース債務の返済による支出	△508	△773
配当金の支払額	△1,005	△1,005
少数株主への配当金の支払額	△227	△186
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317	△239
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,418	△2,520
現金及び現金同等物の期首残高	43,654	40,476
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	379	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,616	37,955

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社グループは生産活動を行っていませんが、当第1四半期連結会計期間末日現在実施中の契約件数をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 (平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
セキュリティ事業		
機械警備業務 (件)	595,602	8.8
常駐警備業務 (件)	3,011	3.9
警備輸送業務 (件)	49,279	6.9
合計 (件)	647,892	8.7
総合管理・防災事業 (件)	51,478	13.8
報告セグメント計 (件)	699,370	9.0
その他 (件)	10,152	14.1
合計 (件)	709,522	9.1

(2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
セキュリティ事業		
機械警備業務 (百万円)	35,912	5.7
常駐警備業務 (百万円)	18,032	3.4
警備輸送業務 (百万円)	12,708	3.3
合計 (百万円)	66,652	4.6
総合管理・防災事業 (百万円)	8,544	17.6
報告セグメント計 (百万円)	75,197	5.9
その他 (百万円)	774	△35.2
合計 (百万円)	75,971	5.2

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 販売実績が総販売実績の10%以上の相手はありません。